



城北中学校教育目標	生徒数
○思いやりのある生徒	1年 167名
○真剣に学ぶ生徒	2年 157名
○健康な生徒	3年 173名
	特別支援学級 8名
	全校生徒数 505名

## 城北中学校 開校50周年

校長 遠藤 敏恵

週末には雨の予報もあるようですが、6月5日（土）から、いよいよ学校総合体育大会が始まります。運動部の3年生にとっては、一部の競技を除いて、これが中学校生活最後の大会となります。心なしか、廊下ですれ違う3年生の表情が引き締まって見えます。心から健闘を祈ります。

今から約50年前、昭和46年4月1日に、岩槻市立岩槻中学校（現在のさいたま市立岩槻中学校）が分離し、東武野口線（現在の東武アーバンパークライン）より北側を学区として、岩槻市立城北中学校が開校しました。ただこの段階では、現在城北中学校がある場所には校舎は完成しておらず、開校式は岩槻中学校内で行われました。本格的な校舎の建築工事が始まったのは、その年の7月2日で、後にこの日が本校の開校記念日となりました。校舎が完成し、最終的に現校舎へ移転したのが、その年度の3月30日、開校当初の生徒数は、445名で、11学級でした。その後、河合中学校（現在は廃校）と統合したり、西原中学校が本校から分離、新設されたり、平成17年には、さいたま市と岩槻市が合併したりして、現在のさいたま市立城北中学校に至っています。

本校の校章は、地元の日本画家 関根 将雄 画伯に依頼し、図案を描いていただいたものです。その図案は現在、校長室に額に入れられて飾ってありますが、その図案の下には、関根画伯の図案作成の意図が次のように記されています。



「太田道灌ゆかりの『山吹』の故事に依り、中央に大きくその花弁（はなびら）を置き、その両端より上部に向かう葉（は）は『中』を囲む。即ち、城北に学ぶ生徒の盡（つ）きざる伸展・友好を表徴したるものなり」

太田道灌という方は、室町時代に関東地方で活躍した武将で、江戸城を築城したことで有名な方です。諸説ありますが、岩槻城も道灌公によって築城されたという説があり、その道灌公にゆかりのある『山吹（やまぶき）』の花が本校の校章の中心を飾っているのです。この『山吹』に関しては、

城の北に やまぶき かおれ と本校の校歌にも表現されています。

先日、開校50周年を記念して、生徒の皆さんに校庭に絵文字を描いてもらい、航空写真を撮影しました。11月20日には、本校体育館にて50周年記念式典を行う予定です。生徒の皆さん、保護者、地域の皆様で、何か城北中学校に関するエピソード等をご存知の方がいらっしゃいましたら、是非、校長室までお知らせ下さい。この機会に色々と調べてみようと思います。【山吹の花言葉: 気品、崇高 開花: 4~5月】

